



第 29 号

平成 30 年 2 月

会長 岡本 諒

## 熱演 新年会 90 名が参加

平成 30 年自治会新年会は 1 月 27 日（土）連合会館にて開催されました。今年の舞台の背景は荒木信子さん（1 区 5 班）手作りの新年会にふさわしい見事な作品で飾られました。

司会進行は阿部嗣雄副会長、会の冒頭、昭和天皇が終戦時に思いを詠った詩（御製）について織田光穂さん（2 区 7 班）が朗詠されました。

岡本諒会長と来賓の藍原満北野まちづくりセンター所長の挨拶の後、幡江洋せせらぎ会会長発声による祝杯、さらに新会員の紹介あり、宴が始まりました。

初めに柳沢恒紀副会長から 3 回目となるシルバー川柳の紹介、今回は特に、夫婦間の機微についての作品が多く紹介され、笑いを誘いました。

次に迷問、珍問クイズに挑戦、頭の固さを実感させられました。

続いてカラオケ大会、今回は趣向を変えて、審査方式になり、登場したのど自慢は 6 名、審査員は 80 歳以上のご長寿 3 名、



審査の結果、特別賞に 88 歳の上田誠二さん（2 区 4 班）チャンピオン賞には和佐田節子さん（2 区 5 班）が選ばれました。

司会者との軽妙なやり取りもあり、楽しい企画となりました。



いよいよ宴もたけなわ、すっかり恒例となった自治会劇団岡本一座の登場。

今年の演目は、ご存知「水戸黄門」。悪代官と悪徳商人を懲らしめるいつものパターンながら、印籠を取り出しての決め台詞もバッチリ決まって喝采を浴びました。

最後は、ビンゴゲーム、当たっても当たらなくても、また、年齢に関係なく楽しいこのゲーム、参加者は全員楽しむことが出来ました。

締めは太田眞自治会相談役、福祉推進員長による万歳三唱。

会員同士の絆が一層強く感じられる宴となりました。

# 子供・高齢者合同クリスマス会

核家族化が進む中、子供と高齢者が楽しく触れ合うことを目的に毎年クリスマス会が行われています。

今年も、12月9日（土）北野連合会館にて開催されました。

この日は、前日の大雪も上がり青空の天候に恵まれ、子供25名、保護者、高齢者合わせて25名、合計50名が参加しました。

岡本会長の挨拶の後、佐々木青少年育成部長からクリスマス会の進め方について説明があり、会は始まりました。

プログラムは、はじめに今回初めて実施するクリスマスツリーとリースの製作を行いました。



材料は松かさやボトルのキャップ、マカロニなどあらかじめきれいに着色されたもので接着剤を使って自分だけのオリジナル作品を作り上げました。

続いてお菓子釣り、子供と高齢者からの挨拶の後、クリスマスケーキをいただき、子供たちには、一人一人にサンタさんからのプレゼントが手渡されました。

最後は、お待ちかね外れなしの、ビンゴゲーム。副賞として、織田光穂さん（2区7班）から寄贈された、ノートと筆入れもいただきました。

約2時間、子供たちと保護者そして高齢者の和やかな交流のひと時でした

## 新会員のおしらせ

12月25日（月）1区1班に笠原 崇さん、亜里沙さんが入居されました。また、1区2班のアパート（カーサ北野、カステル北野）がそれぞれ1世帯として加入していただくことになりました。

これにより、会員総世帯数は325世帯となりました。

# 認知症（徘徊）高齢者声掛け・搜索訓練

～認知症の方も安心して過ごせるまちづくり～

## 北野中央自治会が共催 北野第二公園周辺にて実地訓練

高齢化が進んできている時代において「認知症」は、今や5人に1人はかかる  
とされ、誰にでも起こりうる身近なこととなっています。

認知症の症状の一つに「徘徊」がありますが、今回は、「寸劇」や「声掛け。  
搜索訓練」を通して認知症を正しく理解し、声の掛け方など認知症の方との関わり  
を学ぶよい機会となりました。

主催は北野地区社会福祉協議会と北野地区福祉のまち推進センターで3回目  
の今年は、10月7日（土）北野連合会館に70名が参加して行われました。



また、声掛けの実施訓練場所  
として北野第二公園周辺が選定さ  
れたことから、

当自治会が、社会福祉法人 厚仁  
会（実務担当）と共に共催者となり  
ました。

訓練は、民生委員・児童委員協議  
会の方々などが演じる寸劇を見て  
認知症を学ぶことから始め、訓練  
のやり方の説明を受けた後、北野

第二公園周辺に出かけ徘徊者役の方に声をかけ、警察に通報するなどの訓練を  
しました。

訓練終了後、会館に戻り、グループに分かれ、感想や、問題点などを話し合い  
ました。

取りまとめとして、

1. 声を掛けるには勇気が必要で  
あるが、3つの心得が大切であ  
ること。

- ①驚かせない ②急がせない
- ③自尊心を傷つけない

2. 本人の前で警察に通報する  
際は、本人の気持ちに配慮する  
こと。

3. 声掛けは、一部の人だけで  
なく、地域全体で取り組む必要  
があること。



今回も、豊平警察署、北野地区民生委員・児童委員会、清田区役所、清田区第  
1地域包括支援センター、清田区社会福祉協議会、介護予防センター北野・平岡  
など多くの協力を得て行われ、それぞれの立場から助言などを頂き、多くのこと  
を学ばせていただきました。

# 児童会館は、ちいさなわたしたちの大きなお城

北野児童会館

館長 佐藤 理恵

北野児童会館は、平成2年4月にオープンしました。児童会館は、異年齢集団での遊びをとおして、仲間作りをすすめ、子どもたちの校外（放課後）生活を豊かにし、地域における交流を深めることを目的として設置している施設です。

児童会館は、高校生までの子どもたちが自由に利用でき、就学前の子どもには、保護者と一緒に遊んだり、子育てサークルの活動の場としても利用ができます。

毎週火曜日の子育てサロンには、乳幼児親子が来館し、参加者同士で情報交換をしたり、子育てボランティアの方や職員と交流しています。毎週行われるボランティアの方による読み聞かせや、季節に合わせて、水遊び、クリスマス会、ひなまつりなど楽しい行事も行っています。是非気軽に遊びにきてください。

水曜・木曜日は中・高校生のための「ふりーたいむ」を実施しています。中学生は19時まで、高校生は21時まで利用できます。体育室でスポーツをしたり、おしゃべりをしたり、勉強をしたりと自由に過ごすことができます。またクラブ室には電子ドラムがありますので、バンド練習もできます。

児童会館では、保護者の就労などにより、放課後に留守家庭となる小学校1年生～6年生児童のために「児童クラブ」を開設しています。現在のクラブ登録数は、109名、クラブ員は学校からまっすぐ児童会館に来館し、一般来館児童と一緒に遊んだり、行事に参加して過ごします。毎月いろいろな行事がありますので、おたよりを見て申し込んでください。

北野児童会館は隣にまちづくりセンター（北野連合会館）があり、地域の結びつきも深く、大変感謝しています。地域との行事にもたくさん参加させていただき、「やまめの稚魚放流」、「北野ふれあい夏まつり」、「新春かるた大会」など普段体験できないことを行事を通して体験でき、子どもたちや保護者も大変喜んでいきます。

是非、お近くにきましたら、元気いっぱいの、北野の子どもたちの様子などを見に来てください。

今年度最終号をお送りいたします。

一年間お読みいただきありがとうございました。

さわやか青空便について何かご意見などがありましたらお聞かせください。

広報部長 荒木貞一